



全校種	全教科	小学校4年生～
-----	-----	---------

自己決定を重視した

「子供による学びの自己調整と教師の指導性の在り方」

－メタ認知の向上を目指す「教師の指導性の在り方」の検証－

【「教師の指導性の在り方」が変われば、児童・生徒の姿も変わります】

○ご自身の指導行動を振り返ってみてください。

①～⑭の指導行動を行っていますか？その頻度はどのくらいですか？

番	指導項目	実施(○・×)	頻度(多・中・少)	番
①	命令や指示を出す			①
②	意見を聞く・必要なことを尋ねる			②
③	個別活動の時間を設ける			③
④	正しい方法を教える			④
⑤	根拠を持てるよう促す			⑤
⑥	話し合いを設定・促進する			⑥
⑦	「〇〇するべき」と言う			⑦
⑧	フィードバックをして褒める			⑧
⑨	励ます			⑨
⑩	教材を独占する			⑩
⑪	ヒントを与える			⑪
⑫	質問や提案に応じる			⑫
⑬	質問を制御する			⑬
⑭	共感的な言葉を掛ける			⑭

⇒解説は裏面

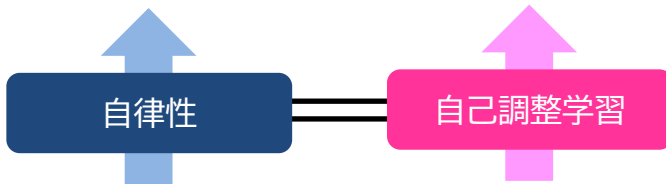
①④⑦⑩⑬を実施し、
頻度が多いほど、
児童・生徒は受動的・
他律的・依存的な態度
に陥りやすくなるとさ
れています。

②③⑤⑥⑧⑨⑪⑫⑭を
実施し、
頻度が多いほど、
児童・生徒は能動的・
自律的・主体的に行動
するとされています。

指導項目	番
命令や指示を出す	①
意見を聞く・必要なことを尋ねる	②
個別活動の時間を設ける	③
正しい方法を教える	④
根拠を持てるよう促す	⑤
話合いを設定・促進する	⑥
「〇〇するべき」と言う	⑦
フィードバックをして褒める	⑧
励ます	⑨
教材を独占する	⑩
ヒントを与える	⑪
質問や提案に応じる	⑫
質問を制御する	⑬
共感的な言葉を掛ける	⑭

Point. 1

児童・生徒の自律性が高まるほど、
自己調整学習の能力も高まります。



Point. 2

自己調整学習を働かせるには、
メタ認知が重要となります。



※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告 (R7) をご覧ください。